

パークゴルフを知ろう

北海道幕別町で生まれた 生涯スポーツ「パークゴルフ」

パークゴルフは、世代や性別を問わず、みんなが楽しめる生涯スポーツとして、1983年に北海道幕別町で誕生しました。

1本の専用クラブと1個のボール、ボールを乗せる台「ティ」を持ち、スニーカーを履いてコースに出ればプレーできます。芝に覆われたコースにはカップが用意され、クラブでボールを打ちながら、カップインするまでの打数を競います。

その土地ならではの地形を利用したコースには、バンカーやOBゾーンを設置するなど、プレーヤーを飽きさせない工夫が凝らされています。また、1本のクラブで

プレーできる手軽さと、歩くことが健康増進に役立つことから、現在では、国内はもとよりさまざまな国で、世代を超えて楽しめるコミュニティースポーツとして普及しています。

知っておきたい パークゴルフの基本

■**服装**／服装の決まりはなく、動きやすければ、どんな服装でも構いませんが、靴は必ずスニーカーで。革靴やハイヒールは芝を傷める原因になります。

■**コース**／スタート位置にティグラウンドがあり、1ホールに3から5打の標準打数(パー)が設定されています。1コースには9ホールあり、大会などでは4コース36ホールでプレーします。

■**用具**／パークゴルフ専用のクラブ、ボール、ティを使います。ティは各ホールの1打目(ティショット)で使います。

用具を持っていなくても、高森パークゴルフ場ではレンタルすることが出来ます。

プレーヤーに聴く

川崎のり子さん(62)
(追町島の浦)



友達に誘われて昨年からはパークゴルフを始めました。今日も「新しくできたから行ってみよう」と誘われたので来てみました。まだ、数えるほどしかコースに出ているので、カップが見えないホールなどはどう打ったらいいかわからず、初心者には難しかったです。うまくなればもっと楽しめそうなので、今後も来たいと思います。

氏家敬悟さん(81)
(追町横丁)



パークゴルフを始めて今年で10年目を迎えます。健康管理のために始めましたが、楽しくなかったら10年も続きません。コースにでると7~9千歩くらい歩きます。みんなでわいわい話しながら回れるのがいいですね。コースは難しかったのですが、その分ゲームとしては盛り上がる気がしました。これから来たいと思います。

津藤美恵子さん(74)
(追町内町)



働いていた時は、地域の人と触れ合う機会がありませんでした。定年退職後、地域の人に誘われたのがきっかけで、今では一緒に来るほど交流が深まりました。健康にもいいし、気力、活力をもらえるので、行くのが楽しみ。高森パークゴルフ場は自然豊かで、アジサイが咲く季節にはまた違った景色の中でプレーを楽しめると思います。

コースの回り方・遊び方

1人でも何人でもプレーすることができ、1番ホールから順番に回ります。一緒にコースを回れるのは4人までです。

1番ホールに着いたら、ボールスタンドに代表者のボールを置き、順番が来るのを待ちます。

打つ順番は1番ホールのみ、くじやじゃんけんなどで決めます。最初の打者は前の組がないことを確認して、

ティグラウンドから1打目(ティショット)を打ちます。ティショットのときは、同伴者はティグラウンドの外で静かに待ちます。危険なので、打者の前に出ないようにします。全員が打ち終わったらフェアウェーに出ます。

2打目からは、カップに遠いボールの順に打ち、2番ホールからは前のホールで成績の良かった順に打っていきます。

空振りや、打数に数えませんが、ルール違反やOBなどは全て2打のペナルティになります。

1ホールが終わったら、打数をスコアカードに記入し、最後に合計し、順位を競います。

これから始めたい人や施設の利用などについては、教育委員会教育部生涯学習課まで問い合わせください。

☎0220(34)2698



1番ホールに設置されている
抽選器付きボールスタンド

一番の魅力は、仲間とのコミュニケーション

登米市パークゴルフ協会の設立は、平成18年4月。設立時、約75人だった会員数は現在、約170人になりました。

私は、定年退職した半年後に友達に誘われて初めてパークゴルフを体験。2、3回プレーするうちに、すっかり夢中になり、今は全国大会の上位入賞を目標に楽しんでいます。

健康管理や競技として熱中するなど、楽しみ方は人それぞれですが、仲間とコミュニケーションをとりながらできるのが一番の魅力。当協会では定期交流大会を月1回開催し、親睦を深めています。いろんな人と組

むので、新たな交友が広がります。

高森パークゴルフ場でプレーした会員からは、コースが難しいという声が聞かれました。出来たばかりなので慣れていないということもあるかもしれませんが、難しさは悪いことばかりではありません。攻略する楽しさがあります。

愛好者は、市内にパークゴルフ場ができることを心待ちにしていました。多くの人を訪れ、また来たいと思われる施設になるように、これからも満足度を上げていく取り組みが必要になります。当協会も一緒に盛り上げていきたいと思っています。



登米市パークゴルフ協会 会長
佐藤 武雄さん(69)
(南方町畑岡)